

# 3 7のみんな

さんな

2020（令和2）年6月10日

福山市立山南小学校

校長 四良丸 優子



山南小学校の教育方針について

本校では、広島県が示している「15歳の生徒に付けさせたい力」である「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現できる力の育成」に向け、そして、福山市100NEN教育5th yearの「子ども主体の学び全教室展開⇒学びが面白い！もっと2 カラフル，子どもたちの自己効力感向上」を実現するため、学校教育目標を「自分らしく生きる Be Happy」として「自主自律」「学び 伸びる子供・教職員」「ありのまま・多様性を認め合う」をキーワードに学校教育を推進しています。コロナウイルス感染拡大の影響の中、現在、学校再開後の生活も大きく変わってきています。このような時だからこそ、「学校」の役割を改めて見直し、本当に身に付けるべき学力は何かを問い直していくことが必要です。本校においても確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むことを目指して各教科・教育活動をしています。本号では、本校教育の方針を今年度から実施している新学習指導要領をもとに紹介していきます。

今年度から新学習指導要領では以下のように示されています。

豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に生きる力を育むことを目指すに当たって、「知識及び技能」の習得と「思考力，判断力，表現力等」の育成，「学びに向かう力，人間性等」の涵養という三つの柱の育成がバランスよく実現できるよう留意すること。

**他の人と比べるのではなく、個々の階段を上っていく**

ことを念頭に、教師

の役割を「見えない学力を見えるようにしよう」を合言葉に自分のために書いていく時間「リフレクション」を設定して、子どもに必要な学力は何か、個別の支援をするのは何のため？どんな関わりを持つことが学力につながるのかを考えています。様々な状況の困り感は何かを考えるということです。※見えない学力とは非認知能力（粘り強さ，協調性，やり抜く力，自制心，感謝する力といった類のもの（ウィキペディア）

そして、学習評価の充実については次のようにあります。

児童（生徒）のよい点や進捗の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童の学習状況を評価するものです。

『「児童にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、学習評価の在り方は重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進めることが求められる。』ものであり、新学習指導要領に改訂された今年度から、既存の「あゆみ」による評価と懇談を見直すことにしました。

教師が児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、児童が学習したことの意義や価値を実感できるようにすることで、自分自身の目標や課題をもって学習を進めていけるように、保護者と子どもと教師の三者懇談会にします。

実際の評価においては、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫し、学習の過程の適切な場面で評価を行います。その際には、学習の成果だけでなく、学習の過程を一層重視し、他者との比較ではなく児童一人一人のもつよい点や可能性などの多様な側面、進歩の様子などを把握し、学年や学期にわたって児童がどれだけ成長したかという視点を大切にしていきます。また、教師による評価とともに、児童による学習活動としての相互評価や自己評価などを工夫することも大切にし、児童自身の学習意欲の向上にもつながるようにするための評価にしていきます。

資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動を評価の対象とし、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要であるため、学習の過程を共有して、子どもたちの次につながる評価と懇談を実施する予定です。

また、今年度から山南小学校の子どもたちを今年度所属しているすべての教職員で育成することそして「多様性」に対応することを考え、4年生以上の教科担任制を導入しています。各学年の担任と人間関係を作ること、そして懇談も各学年の担任が原則として実施しますが、教科が多くなる3年生以上は少しずつ授業を担当する先生が増え、教科を増やしています。

現在、「自分で決める」取組として1週間のスケジュールを示して「学習プランを立てる」チャレンジや、学習した成果を試すためのテストの実施日を決めて、計画を自分で立てて取組めるような環境も整えています。

自分の夢を明確に、その夢を実現するための「今」を過ごす子どもたちであってほしいとの願いを込めて今後も改善していく予定です。

保護者の皆様と共に、子どもたちの成長を共に見守り、山南小学校教育活動を実践してまいります。御理解と御協力、よろしくお願いいたします。 (裏面へ⇒)